

農林水産業・地域の活力創造プランの概要

攻めの農林水産業
推進本部
(農林水産省)

農林水産業・地域の活力創造本部

産業競争力会議
規制改革会議

「強い農林水産業」・「美しく活力ある農山漁村」に向けた4本柱

需要フロンティアの拡大
(国内外の需要拡大)
-輸出促進、地産地消、食育等の推進

需要と供給をつなぐ
バリューチェーンの構築
(農林水産物の付加価値向上)
-6次産業化等の推進
-農業の成長産業化に向けた農協の役割

多面的機能の維持・発揮
-日本型直接支払制度の創設
-農山漁村の活性化

生産現場の強化
-農地中間管理機構の活用による
農業の生産コスト削減等
-経営所得安定対策、米の生産調整の
見直し

-東日本大震災からの
復旧・復興

-林業の成長産業化

-水産日本の復活

農林水産業・地域の
活力創造プラン

農山漁村の有する
ポテンシャル
(潜在力)の発揮

経営マインド
(経営感覚)を
持つ農林漁業者
の育成

新たなチャレンジ
を後押しする
環境整備

- [主な目標]**
- 2020年までに農林水産物・食品の輸出額を1兆円に倍増
 - 今後10年間で加工・業務用野菜の出荷量を5割増加
 - 2020年までに6次産業化の市場規模を10兆円に増加
 - 今後10年間で、担い手の農地利用が全農地の8割を占める農業構造の確立
 - 今後10年間で、資材・流通面等での産業界の努力も反映して担い手の米の生産コストを現状全国平均比4割削減
 - 今後10年間で、法人経営体数を5万法人に増加

農業・農村全体の所得を今後10年間で倍増させることを目指す。